

## 令和8年度 事業計画書

第二十二期 令和8年 4月 1日から 令和9年 3月 31日まで

特定非営利活動法人LONMARK JAPAN

## 1 事業実施の方針

今年度は、最近の話題であるスマートシティ、スマートビルへの統合の面から、マルチプロトコルによるオープンシステム統合の基礎及びコア技術として必須のNEXT-LON技術の検証と採用商品の進に注力する方針である。ロンマークジャパンではマルチプロトコル統合に必要な統合技術の実証とオープン素材を活用したNEXT-LONの実現に注力する。プロトコルを統合技術に関する製品や技術に関するデモ機の開発や開発環境の検証を行ってきたが、これらのノウハウを会員を始めとしてBAの現場技術者に展開できるようにするため啓蒙と推進を行う。オープンシステム統合のBAのコンセプトの理解を深める学習機材や学習の場の提供を会員の協力を得て実施していく予定である。NEXT-LONを導入した製品の開発と普及に注力する。開発評価環境と実機による学習、オープンシステム統合の最新の技術を含めたトレーニングプログラムを実行する予定である。会員をはじめとしてエンドユーザ、インテグレータ、メーカーへの提供も行う計画である。会員が実際に利用できるPCやツールをさらに充実したいと考えている。国や経済産業省の狙うスマートビル統合に向けて、同じ目的を持つ業界団体・企業等との情報交換を積極的に行い、NEXT-LONとオープンネットワーク統合の実現を目指す。

以上の目的を達成するため令和8年度の本法人の事業計画方針は以下のとおりとする。

1. Lonworks の次世代技術としてオープンソフトと汎用CPUにより製品の実現化と推進に貢献する。
2. 先進のマルチプロトコルデモ実機を活用して、スマートビル、スマートシティの統合化の普及推進。
3. 会員が利用できるスマートビルに貢献する準備として開発環境機器やPC等の整備
4. 会員相互の情報交換会によりスマートビルの推進
5. ロンマークジャパンの新組織名称とサブタイトルの検討継続。

上記課題のため、会員の協力のもとに活動を行ない、快適で安全性が高く、スマートシティ、スマートビルの相互接続実現に向けて、スマートビルの推進に取り組む。

## 2 事業の実施に関する事項

事業費の総費用【3,180】千円)

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見込み 額 (千円)
(1) オープンネットワーク普及啓発事業	①ビルオートメーション新技術推進活動（次世代EXT-LONとマルチプロトコルによるスマートビル統合セミナー等、各種新製品評価啓蒙他）	開催 年4回	Web	8人	メーカー、インテグレータ、デベロッパー、ビルオーナー：50人	1,630
	②オープン化技術標準化活動（LMJ会員団体との接続検証他）	通年	Web 東京	5人	メーカー、インテグレータ、教育関係者 各30人	575
	③BAの基礎技術教育活動（会員のためのBAの基礎及びスマートビル統合環境の準備と利用）	通年	法人事務所	6人	メーカー、インテグレータ、施主、オーナー、教員、学生	435
	④ホームページの活用による情報発信（相互連携団体との情報交換他）	通年	法人事務所	7人	メーカー設計者、施主、オーナー、インテグレータ	380
(2) 標準規格適合ソフトウェア、製品認証事業	標準規格拡大のための調査研究、標準規格の市場における利用を促進する	通年	法人事務所	5人	メーカー、インテグレータ、施主、オーナー、不特定多数	160

令和8年度活動計画(案): 会員に次世代LONの技術と情報を提供し、スマートビルの実現に貢献する。

- 方針:
1. 次世代NEXT-LONのコア技術確立と推進。
  2. LMJ開発によるマルチプロトコルデモ実機を活用して、スマートビル、スマートシティの統合化技術の普及推進。
  3. 会員が利用できるNEXT-LON開発環境の推進及び一般BA技術者の為の教育用機器やインストール済みツールのPC等の整備
  4. スマートビルに関する情報交換会により最新情報をエンドユーザ、インテグレータ、メーカーへの提供
  5. ロンマークジャパンの会員獲得活動の強化

計画案		予算(¥)
技術推進及び事業推進委員会	<p>(1) オープンネットワーク普及啓発事業</p> <p>① ビルオートメーション新技術推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IIoT研究会活動と会員及びBA技術者への情報提供               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) マルチプロトコル統合デモ機統合普及活動 (IAP, IoT, クラウド関連.)</li> <li>2) NEXT-LON 開発評価キットと実機による普及活動の継続</li> <li>3) IIoT新製品 (スマートサーバー、EnOcean機器、Lora-WAN棟無線機器、Nessumゲートウェイ、DALI照明機器)接続と評価</li> <li>4) 展示会に参加 (AHR2027, IBS2026, Japan Build2027等)</li> </ol> </li> <li>② オープン化技術標準化活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「NESSUMアライアンス」との月例情報交換会の実施 (継続)</li> <li>・普及団体活動への参加による情報収集活動 (スマートビル共創機構、スマートビルディングコンソーシアム、GUT、JSCA、等)</li> <li>・LMI新戦略への対応準備活動と予算化</li> </ul> </li> <li>③ 会員情報交換会 (徐々に定例化を目指す)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員相互の情報交換の場を提供し、対面での活動を増やす。</li> <li>・スマートビル関連組織との情報交換</li> </ul> </li> </ul>	
活動支援 or 業務支援グループ	<p>④ ビルオートメーション基礎技術教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LMJ準備の教育用機材を活用し、次世代LONのNEXT-LON普及の実施と資料の整備 (HP等)</li> <li>・マルチプロトコル統合の為の技術資料の整備と最新技術資料の公開</li> <li>・ビル制御システム技術者教育支援 (会員が利用できる開発環境の検討と運営)</li> <li>・所属団体 (スマートビル共創機構、東大グリーンICTプロジェクト、スマートビルディングコンソーシアム、JSCA) 活動内容の提</li> </ul>	
	<p>⑤ 情報発信活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容配信のメール配布先の充実</li> <li>・教育用内容のホームページにおけるコンテンツの充実と発信</li> <li>・Web会議の継続に加え対面の会議も再開する。(理事会はオンラインが主)</li> <li>・Webinarシステムの運用とコンテンツの充実</li> <li>・相互連携団体とのネット活用協力体制の構築</li> <li>・LMIの新戦略対応と最新ニュース翻訳版配信継続</li> <li>・会員相互のコミュニケーションの場の開催 (できれば定例化)</li> </ul>	
	(2) 標準化適合ソフトウェア、製品認証	
合計:		

## 8 年度 活動予算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN

（単位：円）

科	目	金額	小計・合計
<b>【A】</b>	<b>経常収益</b>		
1	受取会費		
	正会員受取会費	2,100,000	
2	受取寄附金		
	受取寄附金	0	
3	受取助成金等		
	受取補助金	0	
4	事業収益		
	オープンネットワーク普及啓発 事業収益	0	
5	その他の収益		
	受取利息	15,000	
経常収益計			2,115,000
<b>【B】</b>	<b>経常費用</b>		
1	事業費		
	(1) 人件費		
	給料手当	120,000	
	役員報酬	1,200,000	
			1,320,000
	(2) その他経費		
	会議費(雑費)	20,000	
	施設・会場費	580,000	
	旅費交通費	600,000	
	展示物製作費	300,000	
	印刷物製作費	20,000	
	講師講演費	20,000	
	情報発信費	120,000	
	通信・運搬費	20,000	
	消耗品費・什器備品費	20,000	
	製品認証事業費	160,000	
			1,860,000
事業費計			3,180,000
2	管理費		
	(1) 人件費		
	役員報酬	0	
	給料手当	30,000	
			30,000
	(2) その他経費		
	総会理事会運営費	30,000	
	旅費交通費	20,000	
	郵便通信運搬費	10,000	
	消耗品費・什器備品費	60,000	
	事務代行委託費	1,320,000	
	雑費	10,000	
	支払手数料	30,000	
			1,480,000
管理費計			1,510,000
経常費用計			4,690,000
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			-2,575,000
<b>【C】</b>	<b>経常外収益</b>		
	経常外収益	0	
経常外収益計			0
<b>【D】</b>	<b>経常外費用</b>		
	経常外費用	0	
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③			-2,575,000
	法人税、住民税及び事業税・・・④		0
	前期繰越正味財産額・・・⑤		9,203,356
次期繰越正味財産額③－④+⑤			6,628,356